

サポーターカンファレンス参加申込時にいただいた、クラブに対する質問、意見一覧

(ご質問いただいた内容を一部わかりやすい表現に修正している部分もございます)

<シーズン目標、チーム強化について>

■将来的なビジョンを伺いたい、とにかく 2016 シーズンをどのようにしたいのか？そのためにどのようなことを実践するつもりなのか、具体的なことをお聞きしたい。(50 代女性)

■今シーズンはアルビらしい走り勝つサッカーがなくなったように感じます。走り込み不足、体力不足が要因と思われますが昨年までのコーチ三浦さんの福岡への移籍が大きく響いているような気がします。福岡の後半の快進撃は彼のトレーニングが効果を発揮しているような気がしてなりません。三浦さんを移籍させたのはなぜでしょうか？また、走り込みを強化できるような監督、コーチを要望します。(50 代男性)

■アルビレックスが強くなるためにはユースの強化も必要ですが若手の育成も必要かと思います。サテライトチームを作る予定はありますか？(50 代男性)

■今季はほとんどの選手が残り、補強も山崎選手・コルテス選手など優秀な人材を獲得してフロントは凄く頑張ったと思います。しかし、怪我が多く(怪我人だらけ)最低の結果(降格しなかったから良かったという問題ではない)。来季は降格候補の筆頭でしょう。守備の構築は勿論ですが、ゴールにこだわったチームを是非ともお願いします(ホーム 3 勝で誰が試合を見に来ますか)。(50 代男性)

■トップチームの監督、コーチの予算は、どのようになっているか。以前、育成型クラブとして選手だけでなく監督、コーチも育成すると言っていたが、J1 となるとそんなに甘くはないと思う。しっかりとした戦術があり、毎試合臨機応変に戦術の選択肢があり、世界のトレンドに敏感である(視野が広い)。育成がうまい。人心掌握ができる。新潟のサッカーを理解している。といったような要素が必要だと思う。そのためには、ある程度の予算をつけた方がいいのではないか。(40 代男性)

■今後、どういうチームを目指していくのか、クラブとしてのビジョンを明確に教えてください。(50 代女性)

■ホーム戦における試合メンバーの前日宿泊はずっと続いていたのでしょうか。その場合、その費用対効果はどう評価されていますか。また、来季以降の予定はどうお考えでしょうか。(60 代男性)

■近年「タイトル・ACL 出場権」を掲げているが、結局は毎年のように下位・残留争いをしている状況の中で、フロントとしては誰も責任は取らないのか。監督だけではなく、フロントの体制を変えない限り、同じことが毎年繰り返されるのではないか。(30 代男性)

■軽々しく「タイトル獲得」を目標に掲げるのはどうかと思う。「7 位以内」、「10 位以内」等、身の丈にあった目標設定の方が、サポーターやスポンサーの支持が得られるのではないか。(30 代男性)

■どのような意図で”少数精鋭”にしているのか分からないが、選手層が薄いのために、天皇杯で下のカテゴリーのクラブに毎年負けるのは、J1 に居続けるクラブとしてどうなのか。(30 代男性)

■今年度のシーズン途中も含めた補強の良かった点、足りなかった点をどのように分析しているか。(40 代男性)

■来年の補強ポイントはどこを考えているか。(40 代男性)

■来シーズンへのビジョン、目標をお聞きしたいです。(50 代男性)

■チーム強化について伺いたい。(40 代男性)

■地域密着クラブとしての限られた強化費があると思うが「浦和」「横浜 FM」「名古屋」「G 大阪」等に対等に戦う為に必要なモノは何ですか？(30 代男性)

■「勝利」＝「ファンが喜ぶ」＝「試合観戦者が増加する」というサイクルが生まれると思いますが勝利する

為に「補強」と「継続性」は必須だと思います。クラブの信念は理解出来るし共感しますが、「ファン」が1番喜ぶ事は「試合に勝つ！」事だと考えております。「試合に勝つ！」為に必要な補強は2016年シーズンに向けてどこまで進んでおりますでしょうか。(30代男性)

■今後の強化方針は？(50代男性)

■サポーターは、J1 残留ではなく、タイトルを目標に夢見て応援しています。それは、クラブ側から毎年タイトル獲得を明確に発信されているからです。来季は、期待を失望に変えないためにも、また、今年はホームでほとんど勝てないこともあり、スタジアムに足を運ぶ方もだいぶ減りスタジアムの雰囲気も変わってまいりました。そのような方々にまたスタジアムに足を運んでもらうために、クラブ側の今後のビジョンや戦略について、ご説明いただきたいと思います。(40代男性)

■タイトル奪取の為に、2015年足りなかった部分は？(40代男性)

■柳下監督の元、本当にアグレッシブな自らゲームをコントロールできるチームになったと思います。ですが、あれだけのアタックを90分間継続するのは無理だと思います。結果、なかなか点がとれず、こちらの疲れた後半にやられてしまうという試合が多かったように思います。それとやたらと怪我人が多かった(多過ぎ！)と思います(これまで新潟は選手のフィジカルコーチには定評があつて怪我人は少なかったように思います)。運もなかったようで、ちょうど勝点の稼げる下位チームと当たる時にレオシルバ選手が病気で離脱し、帰ってきてからもボールを奪われてしまうシーンなど今一コンディションもあがらなかったように見えました。それが予想以上に厳しいシーズンになってしまった一因になったと思いますが、裏を返せば選手層が薄いという事になるのでしょうか、新潟のような地方チームでは仕方ないのかもしれませんがね。(60代)

■来季に向けての希望ですが、やはり緩急つけられるチームにならないといけないと思います。それにはJ1昇格した時の山口素弘選手のようなゲームをコントロールできる選手がどうしても必要だと思います。優勝争いするようなチームには必ず優秀なボランチがいます。広島 of 青山選手、ガンバ大阪 of 遠藤選手、鹿島 of 小笠原選手や柴崎選手、浦和 of 柏木選手などです。新潟を見た時、レオシルバ選手はどちらかというと攻撃的MFですし、山本選手もです。小林裕紀選手など用いた用ですが、残念ながらゲームコントロールリーダーとしては能力不足だったように思います。鹿島を退団する本山選手などはどうなのでしょう。優勝経験も豊富ですし。(60代)

■外国人選手ですが、広島 of ドウグラス選手やガンバ of パトリック選手、ここぞで決めきる時は、やはりプレゼンスの利く存在感のある外国人選手が欲しいです。なんといってもエジミウソンは良い選手でした。ところで名古屋を退団するノヴァコヴィッチ選手なんかどうでしょうか。(60代)

■今後のチーム強化方針について(40代男性)

■U-18からトップの昇格が無いとの話ですが、U-18の選手たちを公式戦に出させてまで昇格させない決断の理由をお聞かせください。(30代男性)

■あと何年我慢すれば優勝争い出来るチームになれますか？(40代男性)

■今チャンピオンシップを観戦しているが、G大阪、広島とも何年か前にJ2に降格し、その後昇格、J1優勝を果たしている。我々はその間J1で戦っているが、最高順位は6位である。これらのチームと我々は何が違うのか？何が足りないのか？優勝するためクラブとしてやらなければならないこと。サポーターが出来るのであれば、示して欲しい。(50代男性)

■J2降格圏ギリギリの成績を何回も繰り返したチームは、抜本的な改革を行わないでいると、降格してしまうケースが見受けられます。来年は、吉田監督が決まり、絶対に降格しないために、どのような抜本的な改革を行っていくのか、具体的な方針と取組を教えてください。(50代男性)

■監督と社長の話が食い違っていることが多くあり、非常に困惑した。例えばなかなか勝ち点を積み上

げられずにいる時期、監督からは目標は実質的には残留という言葉が聞かれたが、社長からは「可能性がある限りは優勝を目指す」、「君たちサポーターはチームを信じられないの？」という話があった。これからも可能性云々を語るだけでは何も変わらないと思う。そもそも、その上から目線の物言いもどうかと思いますが……。終わったことをグチグチと言っても仕方ないと思うので、来年以降はそういったチーム内での話の食い違いがないようにしてもらいたい。(20 代男性)

■選手の基本的な技術は向上しており、以前に比べてパスミスも減り、安心して見ていられるようになった。しかし、失点すると気持ちの余裕がなくなるように見えてしまい、気持ちの切り替えがうまくないと思われる。メンタル面の強化対策について聞きたい。(60 代男性)

■ホームゲームでの勝利がなければ観客は増えないので、選手層の強化対策を聞きたい。(60 代男性)

■今後、短期、中期、長期でどういったチーム作り、観客動員の戦略、戦術を練っているのか。特にチーム作りは前回の奇跡の残留から、メンバーもほぼ総入れ替えし、チーム戦術も積み重ねられているとは言えない。最近ではひたむきさ、泥臭さも見られなくなってきた。是非とも新潟と言えどという強みを作って欲しい。(30 代男性)

■2016 シーズンのチーム目標等を教えてください。(男性)

・チーム目標 ・スローガン ・サッカー内容、スタイル ・上記に対する監督と選手選考

■セカンドチームの J3 参加についてのクラブの考え(40 代男性)

■山本選手の人気はチーム内でトップクラスだと思いますが、来季に向けてクラブとして獲得(レンタル延長どちらでも)する意思はありますか？(磐田との契約上、実現するかどうかは別として)(40 代女性)

■恒例になっていた主力選手の流出を最低限に抑え、タイトル、ACL 出場を目標に掲げてスタートしましたが、最後まで残留争いをした今シーズンを検証してください。(50 代女性)

<ケガ人について>

■今季、ケガ人が多く出ましたが原因は一体何だったのでしょうか？(30 代男性)

■今年は怪我人が多かったが、その原因をどのように分析しているか。(40 代男性)

■今年の低迷の最大要因は怪我人が多かったことだと思います。何故こんなに多くの怪我人が出てしまったのか。怪我人を出さないための来シーズンの対策はどうするのか。クラブの考えを教えてください。(40 代男性)

■ケガ人の多かった原因(60 代女性)

■今シーズンは故障者が多発しましたが、その原因をどう考えますか。(30 代女性)

■ケガをした場合の治療環境は、どのようになっていますか。(40 代男性)

・電気治療器、酸素カプセルなどの機器の有無 ・他の Jクラブと比較して

■2015 シーズンに選手の故障が多かった要因と対策について聞きたい。(60 代男性)

■トレーニング中のケガで長期離脱をする選手が複数出た印象があります。原因はどこにあるとお考えでしょうか。(50 代女性)

■故障者続出の要因と改善策(40 代女性)

今季「少数精鋭」で臨んだなか、故障者が続出してしまった要因は何なのか。今後も予算的観点から保有選手数を増やす予定がないのなら、今季の状況をしっかりと検証し改善策を講じる必要があると思われる。

■今シーズンはシーズン当初から少数精鋭にもかかわらず、怪我人続出。やはり、シーズンの最初から 30 名近くの選手は必要ではないのか？(50 代男性)

■今シーズンの低迷の大きな原因は予想外のケガ人の続出と思われますが、所属選手の少なさがさらに低迷に拍車をかけたと思います。タイトルと言っていながらタイトルを獲るには、かなり過密日程になることを考えていないメンバー数だったように思います。来シーズンの登録メンバー数を増やす予定はありますか？(50 代男性)

<監督について>

- 監督交代における今後のチーム作りの方向性について(40 代女性)
- 新監督をどういうことで選ばれたのか(50 代女性)
- 新聞報道だけだがなぜこの監督になったのか？不安しかない。クラブの説明によってはシーパス、後援会の継続も考えないといけない。(20 代男性)
- 柳下監督と契約更新しなかった理由(50 代男性)
- 監督交代は今シーズンの成績を踏まえて仕方ないことだと思いますが、チームの意向なのか、監督の意志だったのかを教えてください。(50 代男性)
- 監督選びの基準はどこですか。(50 代女性)
- 柳下監督の契約満了は、本人の意向か、クラブ側の意向か。(50 代男性)
- 後任監督の選定基準を具体的に教えてほしい。(50 代男性)
- 来シーズンは開幕が例年より早いなかで、新たな監督がなかなか発表されない(11 月 29 日時点では未発表)。監督退任を公表した時点では決まっていなかったのか？今期活躍した選手の慰留(レンタル選手は完全移籍へ)は行ったのか？新監督が決まらない中では、補強も含めてすべてが後手に回った感が否めないが、その辺はどう考えているのか？(50 代男性)
- 監督選任にあたり、吉田達磨氏の他にホン・ミョンボ氏、チョウ・キジェ氏にオファーとの新聞報道がありましたが、その報道が事実とするのであれば、どういうビジョンを持って 3 人にオファーしたのでしょうか。この 3 人に共通するクラブが求めるものは何なのでしょう。(40 代男性)
- 新監督決定の経緯について(30 代男性)
- 新旧監督の評価(60 代女性)
- 柏での育成を主な功績にしている来季新潟で指揮を執る吉田達磨新監督を中心にしたトップチームと、それに付随するアカデミーとの関係並びに戦略を今後どういうものにしようと考えておりますでしょうか？(30 代男性)

<2 ステージ制、秋春制について>

- その後の秋冬制の動向について(60 代男性)
- 来年はリーグ開幕日が 2 月になるということで、これは秋春制移行へのルールに乗ってしまっているのではないかと心配です。また、2 月の開幕戦がアウェイであってもホームであっても降雪が心配です。(40 代男性)
- 2015 年シーズンは 2 シーズン制が復活しましたが、アルビは常に下位で闘っていたせいか 2 シーズン制のどこが良いのか分かりませんでした。むしろ、過密日程・平日開催の多さ・早い時期での閉幕と悪い点ばかり感じられました。(40 代男性)
- 2 ステージ制で初めてのシーズンを終え、クラブとしてはこの制度は良かったと思いませんか？(40 代男性)
- 開幕戦も最終戦もホーム開催が出来ないのは悲しいです。ナビスコカップは決勝トーナメントへ行っても、平日開催のみは悲しいです。CS ありきは悲しいです。私たちは Jリーグが好きなのに、私たちが軽

んじられているように感じます。100 年構想はどこへ行ったのですか？ (50 代女性)

■2016 シーズンの日程についてお考えを教えてください。(男性)

・2015 シーズンにあった 4・5 月等の過密日程と 11 月の余裕のある日程のアンバランス

・2015 シーズンにあったリーグ開幕戦とリーグ最終戦のホーム・アウェイのアンバランス

(松本は開幕戦アウェイ、最終 2 節連続アウェイとバランスが悪いと感じる)

・クラブとしてリーグに対して意見を出しているのか。

⇒大会方式や試合日程に関するクラブとしての考え(降雪地域であることも踏まえ)は、Jリーグへ伝えております。試合日程や 2 ステージ制に関しては、様々なご意見があるかと思いますが、仮に今年のチーム成績が良ければ、今年の日程・制度は非常に良かったと感じられる方もいらっしゃるかもしれません。最終的にはJリーグが総合的に判断し決定しておりますので、引き続き我々はその中で出来ることを最大限に取り組んでいかなければなりません。

<集客、チケット関連、イベントについて>

■シーパスの申し込み時期と後援会の申し込み時期がずれているので同じタイミングにしてはどうでしょうか？新しくシーパスを購入する人には不便ですし、後援会加入のチャンスを逃します。他チームでは同時募集が多いです。(50 代男性)

⇒会社管轄のシーズンパスやドリームクラブ(旧サポーターズクラブ)と後援会の会員組織や特典などを統合できればご指摘の課題もクリアできるのですが、現状、会社と後援会が別組織で会期も違うため、個別にお手続を戴いております。会員の皆様やクラブ経営にとってよりよい形を構築していけるか、継続的に検証検討して参ります。

■今年はナビスコ予選を突破し準々決勝、準決勝と試合を楽しむことができました。これも他チームの話で恐縮ですが、シーパス特典としてカップ戦決勝トーナメントホーム試合も含めてはいかがでしょうか？今回は 2 試合とも平日開催とあって寂しい動員でしたので…。(50 代男性)

⇒特典で決勝トーナメントのホームゲームを無償とした場合、チケット収入＝チーム強化費に資する機会を失うため導入しづらいですが、平日開催の場合の動員施策は今後も検討して参ります。

■観客増について専門のコンサルタントに依頼してはどうか。(40 代男性)

⇒大変有難いことにチームを応援してくださる有償のお客様は増えております。コンサルタント委託を前提にせず、他クラブや他競技・興行の取り組みを参考に、クラブ内外で積極的に情報交換や連携をして、より多くの皆様にご来場戴けるように取り組んで参ります。

■基本的には招待券削減には賛成ですが、2015 年は招待券削減という方針でした。それによる実務・財務的な改善とイメージダウン(観客動員数減)とのバランスは、当初の想定範囲内だったのか。またその想定はどの着地点を基準にしたものなのか？具体的な結果検証をお願いします。(男性)

例として…

プラス要因

・試合を観たい人がチケットを買うようになる…入場料収入増

・観客減によるオペレーションの簡素化…経費削減

マイナス要因

・観客減による選手のモチベーションの低下

・集客力低下というイメージダウン…Jリーグファンの持つ評価

・飲食・売店の売り上げへの影響…協力業者からの反応は？

■観客減に歯止めがかからない。招待券を減らすなどの話はあったが実際はどうしたのか。普通に考え

れば、シーズン序盤や開幕戦などは多めに出し、様子を見て減らす軟着陸をするはずだと思うが。(30 代男性)

■入場者数に対するお考えを教えてください。(男性)

- ・2015 シーズンは J1 リーグとしては増加だが、新潟は減少
- ・2015 シーズンが減少した理由、見解
- ・2016 シーズンへの対策、数値目標
- ・スポンサーや行政などに働きかけていること、既存サポーターができることは？

■観客動員数増加に向けた対策について(40 代男性)

■観客を増やすための方策(50 代女性)

■観客数減少が深刻です。ホームで3 試合しか勝てないのでは当然の結果です。ホームでは必ず勝つことが回復のきっかけとなると思います。監督が代わり、クラブは新たな歩みを始めますが、どんなビジョンを描いているのですか？新潟らしく勝ち続けるために、チームづくり、集客とスタジアムづくりと、これからの数年間のビジョンを聞かせてください。(50 代男性)

⇒初観戦者やシーズンパスホルダーの多くは、知人に誘われたり、無償招待券を入手したことが来場のきっかけになっているため、テストマーケティングとしての招待券戦略は非常に有効な手段と考えます。それと同時にチーム強化のための投資拡大には、有償来場者を増やしていくための踏み込んだ施策が必要と感じています。

そのため、まず 2015 シーズンは、繰り返し同じ人に招待券が渡ることの無いように招待券配券計画を策定し、招待券の配券数は前年から半減しました。逆に将来に向けたサポーターづくりという観点から、新潟県内の各市町村や各協会にご協力戴き、小中学生や幼稚園保育園児の招待活動は拡大しました(親御さんご同伴者様は優待価格で販売)。その結果、総入場者数は前年比で減少しましたが、有償来場者数=チケット収入は拡大し、後半戦に投入したスポットパスの販売も奏功し、シーズンパス総数も増加しました。

今後も招待券を有効活用しつつ、ホームゲームイベントや他業種や地域とのコラボレーションを通して、新規のサポーターの方々にご来場戴ききっかけづくりを行って参ります。そして丁寧なコミュニケーションやプロモーション活動でファン・サポーターや入場者数を拡大できるよう努力して参ります。サポーターの皆様におかれましては、上記の取り組みをご理解いただき、新たな仲間をスタジアムに連れてお越し戴ければ幸いです。

■現在の座席小中高校生価格を高校卒業後に社会人になる人を除く専門学校生、短大、大学までの学生もしくは社会人を含む 22 歳以下までに小中高校生価格を適用できないでしょうか？小中高校生のシーズンパス料金を高校 3 年生の場合は翌年に限り小中高校生価格を適用できないでしょうか？高校生(卒業直前、社会人になる直前)の段階でいきなり大人料金(例 A1 料金 15,000 円から 76,800 円で差額 61,800 円、サポーターズパス 15,000 円から 36,700 円で差額 21,700 円、2015 シーズンの価格参考)になると支払えない人もいると思います。(30 代男性)

⇒毎年頂戴するご意見で、検討しシミュレーションも行っております。進学や就職等で生活環境が大きく変わる人生の転機で、18 歳の方のシーズンパス継続率は 40%前後と他年齢層に比べ著しく低いのが実状です。しかし、逆の見方をすると、40%の方が継続して戴いていて、その後も高い継続率で推移しているため、大幅な値引きには慎重にならざるを得ませんことご理解戴けますと幸いです。

また、大学生・専門学校生世代の新規来場拡大に向けた「学割回数券」については、年々拡大しておりますので、来季以降もより販売強化できるように取り組んで参ります。

■集客に向けての工夫が足りないといつも感じる。イベント・グルメ等いつも変わらず、遠路東京から来

る気持ちがうせるばかり。例えば川崎のように、もっと話題性に富んだイベントを定期的実施すべき。
(50 代男性)

⇒他クラブの取り組みはひとつの事例であり、我々は新潟オリジナル(サポーターの方々やスポンサー企業、地域の皆様と共に創り上げていくスタンス)を大切に毎試合様々なイベント実施に取り組んでおります。話題づくり、既存サポーターの満足度向上のためのイベントやコラボレーションは引き続き検討して参ります。

■入場者数を増やして行く方策として、地道な学校訪問や大学と連携した活動に取り組んでいるようですが結果が出ていません。やはり爆発的に増やすためには、流行をリードする 20 代の未婚の女性をターゲットにした戦略が必要に思います。何らかのマーケティングは考えておりますでしょうか。スタジアムに来たことが無い人に来場したいと思ってもらうには、メディアを活用するのが良いと思います。単発ではなく毎週 15 分ぐらいでも主力若手のイケメン？にラジオに出演してもらうとかしては如何でしょうか。客商売の部分もありますので、サポーターだけでなく「ファン」の開拓も必要と感じます。(50 代男性)

■ライト層へのアプローチ向上

普段アルビレックスに関心がない人達に、いかに振り向いてもらえるかの仕掛けが希薄すぎる。今季招待券の配布を減らしたことによって観客動員数が J1 昇格後最低になったとのことだが、それは裏を返せば今までいかに招待券に頼りきりでいたかを露呈することになったと思われる。どんなに「いいサッカー」をしていても、一般の人にはその「いいサッカー」とやらを理解するのにはなかなか難しく、純粋に勝敗のみこそが関心の的と言えると思う。そんな中でも勝敗に左右されることなくスタジアムに来るだけでなんか楽しいなと思ってもらえる案を本気出して考えてもらいたい。例えば食の面で言えば、ちょっと酷かもしれないが全出店者に「スタジアムオリジナルの商品」の開発・提供を義務付けるとか。また、SNS のツールをもっと活用してスタジアムに来ないと体感出来ない企画を開催したり、年配の方達にもやさしい観戦環境を整える等々、改良の余地は山ほどあると思う。我々シーズンパスを持っている人間は、黙っていても自分で情報を収集して観戦に来るのでさほど気に留めなくてもいいが、新規のサポーターを掘り起こすにはそれなりの仕掛けが絶対必要になってくると思われる。まずはホームでの試合の前日に集中して開催告知のテレビ CM を流したり、各地上波局の生番組に社長をはじめとしたクラブスタッフ、時には選手が自ら告知に出演(調整等で困難な場合は VTR でも)して来場を促すというのはどうだろうか。そこで「あんだけ毎回毎回熱心に言ってるんだから、一度観に行ってみるかね」と思ってもらえたら儲けもんだと思う。シーズンパス保有者に新規観戦者の勧誘を事あるごとをお願いしているが、それも限界がある。ここはクラブ側がもっと自発的にどんどんアクションを起こしてもらいたい。(40 代女性)

■過去に行った「We are ONE ライブフェスタ」や、FC 東京が人力舎とコラボして行っている「青赤お笑いグランプリ」のようなイベントを行って、少しでも新規の顧客となりうる方々にスタジアムに来て頂けるようなイベントを開催していただきたいと思いました。(20 代男性)

⇒新規層の開拓は常に必要と考えています。クラブやチームを知る・触れるきっかけづくりとして、地上波版アルビタイムス(クラブ公式 TV 番組)の制作・放送に努めたり、メディアパートナー各社様と連携して観戦ガイド風ミニコーナーや楽しみ方の情報を発信する企画も実施いたしました。その他イベントや各種団体とのコラボレーション、メディアへの露出といったプロモーションは引き続き検討して参ります。

■今年はメインスタンド、バックスタンド 1 層目の空席の多さが目についた。特にメインスタンドの空席が年々目立っているような気がする。今季一番の観客数だった松本山雅戦も他のスタンドはほぼ埋まっている状況だったが、メインの特に 2 層目の空席の多さが残念だった。個人的には 4 万人のカギはメインスタンドの集客次第だと考える。販売に工夫はできないのか？(30 代男性)

⇒ゾーン指定席エリアとして「ファミリーシート」を設けたりしていますが、空き席の有効活用はメインスタ

ンド2層目に限らず、引き続き検討して参ります。

■観客動員について:新潟市内の子どもたち、大人達は飽和状態ではないですか?魚沼地域への学校訪問を通して、サポーターを増やしませんか?サッカーに対し、大人はまだまだ懐疑的です。たとえば、子どもが『本物体験』することで、スタジアムに行ってみたいという気持ちが芽生える→お父さん、仕方なくスタジアムに行く→アルビが勝つ(万歳三唱)→子どもが喜ぶ→またスタジアムに行く→また、アルビが勝つ(万歳三唱)→子どもが喜ぶ→お父さんも子どもも、アルビにはまる→観客動員が増える。(40代男性)

⇒新潟市以外の地域に向けたホームタウン活動についても実施できるよう検討して参ります。

■駐車料金はどの団体の収入になっていますか?アルビの収入ならば大いに歓迎ですが。(60代女性)

⇒駐車場借用料を新潟県にお支払いしておりますが、残りはクラブの収入となっております。

■クマチケ等、チケット購入では無い方法で販売できませんか?販売日の10時には行けない(仕事の都合とか)、並んでいるうちに昼休みが過ぎてしまったりとか購入したくてもできないときがあります。ホーム試合の日にショップで販売されると思いますが時間的にそんなに早く行けない事情とか何か良い方法ありませんか?(60代女性)

⇒非常に多くお問い合わせいただく内容ですので、販売方法を検討して参ります。

■砂かぶりシートの特典のひとつに「試合終了後は選手とハイタッチ」があるが、負けた試合でも実施するのは、選手の心情からしていかがなものか。特に今季は残念ながら負けた試合が多かったから、選手からの申し訳ない気持ちが伝わってきて余計つらく見えた。(30代男性)

⇒勝利を期待して「選手とハイタッチ」という言葉でご案内しております。残念ながら負けてしまった試合でも、選手とのコミュニケーション、激励のお声掛けの機会として、継続実施したいと考えております。

■最終節の柏戦に参戦してきました。うっかりポイントタッチを忘れてしまいました。ポイントの景品も楽しみの一つとしてスタジアム通いをしている私にとってはとてもショックでした。参戦したことがわかればポイントを加算できる方法があればと強く願います。(60代女性)

⇒ポイント加算は、原則スタジアムでのタッチのみとさせていただいております。アウェイの会場ではビッグスワンと対応が異なる場合がございますので、アウェイスタジアムの担当にご確認ください。また、何らかの事情がございましたらクラブまでお問い合わせください。

■シーズンパスを購入した人限定で、年会費100,000円のプレミアム会員を募集して、有料で会員限定パーティー(本人のみ、選手はなるべく全員参加)や、非売品グッズプレゼント、キャンプツアー(選手と触れ合える、一般客の入れないエリアで見学)等どうでしょうか?(40代女性)

⇒アイデアをありがとうございます。様々な企画や他のアイデアと一緒に検討して参りたいと存じます。

<スポンサー営業、協賛について>

■スポンサーの確保対策について(40代男性)

■ホームゲームでの各企業のサンクスデーが減っているように思われ、イベントも画一的となった。ビジターの試合では地域の小さな企業でもイベントを行っており、地域との一体感が感じられるので、努力されており困難ではあると推察されますが、頑張ってもらいたい。(60代男性)

■カシマスタジアムのようなLEDビジョンをビッグスワン2層目最前部でも検討して欲しい。難しいのであれば、空きスペースがなくなるように営業をしっかりして欲しい。(30代男性)

⇒引き続きさらに多くのスポンサー・パートナーの皆様にご支援いただけるよう、工夫をしながら営業努力を続けて参ります。時にはサポーターの皆さまからもアイデアやご意見を頂戴し、一緒にスタジアムの

盛り上げとチームの後押しにお力添えを戴けますと幸いです。

<試合観戦環境等>

■喫煙所を減らせませんか？（本当は無くしてほしい）お母さんや子供に来てほしいなら、タバコの煙を減らす努力をした方が良いです。吸う人と吸わない人は、どちらが多いと思いますか？吸う人への対応として、禁煙外来の広告を貼っておくとか。（40代女性）

■スタジアム外での喫煙マナー啓発をさりげなく浸透させていただけたらと思います。スタジアムグルメを楽しんでいるベンチやテーブルで携帯灰皿持ちでたばこを吸われる方が多いのです。他に、アウェイでの並び列内での喫煙も。ただ吸うなというだけではなく、喫煙エリアを分かりやすくしたり増やしたりなどの工夫はできないでしょうか？（50代女性）

■開門後、スタジアムの中は喫煙場所が決まっているが、それより前の時間は携帯灰皿を持っていればどこでも吸えるみたいになっているのはおかしい。全エリア禁煙ではないのか？そうでないなら、喫煙場所の周知を徹底してほしい。（40代女性）

⇒現状、スタジアム内においてはW・Eスタンドは大階段上、N・Sスタンドは各入場ゲート脇に喫煙所を設置しております。以前はスタジアム2層目にも喫煙所を設置しておりましたが、徐々に数を減らしております。スタジアム外（公園内）は、全面禁煙ではないため、試合日に限り臨時の喫煙所（各トイレ脇等）を設置しております。引き続き喫煙マナーの啓発を行うと共に、より分かりやすい表示等の設置を検討して参ります。

■専用スタジアムの建設を検討してほしい。（40代男性）

■スタジアムの雰囲気欧州風にしてほしい。若者の観客増につながると思う。（40代男性）

⇒大規模な計画となりますのでクラブだけの問題ではなく、関わる多くの皆様と協議・連携が必要となります。また、スタジアムの雰囲気や応援スタイルはサポーターの皆様と共に創り上げていくものであると考えております。ご意見として頂戴いたします。

<商品（飲食、グッズ等）関連>

■ユニパッチが無かったのはなぜ？シーズン前に2015年verにできなかったのか？スタジアムだと行列になるのなら、聖籠オレンジカフェに設置できないのか？（40代女性）

■昨年オレンジガーデンに導入していただいたはずのユニパッチの筐体が稼働が確認されないまま撤去されておりました。非常に残念です。（20代男性）

⇒調整を行っていましたが、導入に至る諸条件が整わなかったため展開を見送りました。来季以降については、引き続き検討させていただきます。

■ユニフォームは開幕戦前に欲しい。他のチームは開幕戦に合わせているのに、どうしてアルビはいつも間に合わないのか（40代女性）

■いつも新ユニの到着がホーム開幕前になっていますが、アルビはアウェイ開幕が多いので、是非アウェイ開幕に間に合わせてください。作成にかかる日数から逆算して締切を早くすればできるはず。（他チームはできてます）（50代男性）

⇒ご意見ありがとうございます。メーカー様やマーク加工協力会社様含めて鋭意調整して参ります。

■他のチームガチャであった、あひるちゃんのキーホルダーがほしい（40代女性）

⇒他クラブの情報を調査し、今後の展開を検討させていただきます。

■N抽選が試合開始4時間前なのに各ブースのオープン時間も4時間前～3時間半前になっています。せっかく早くスタジアム入りしているのに楽しむ時間が少ないので5時間くらい前からオープンしても

raitaitaiです。(夏季だけでもかまわないので)(50代男性)

■山形や浦和では試合後もスタジアム外の飲食ブースが開いていて試合の余韻を楽しめるようになっていいます。スタジアムに来なくなった理由のひとつに駐車場の混雑もあげられると思うのですが、その問題の解決にもなると思われますので是非ご検討をお願いいたします。(50代男性)

⇒現状、E外広場のグッズ売店は試合開始4時間15分前に、その他の飲食売店は、4時間前オープンとなっています。試合終了後の営業に関しては飲食出店企業様のご都合もありますので、これから相談して参ります。

■フルスポンサーの1stユニホームがスタジアムやオレンジガーデン以外で手に入りにくい。ネット通販やスポーツ店に並んでいるものは「亀田製菓」のみ入ったユニホームばかり。オフィシャルネットショップにも夏場以降販売されてない。他のクラブはフルスポンサーなのに、アルビだけなぜ？(30代男性)

⇒フルスポンサーモデルは、クラブ流通(試合会場、オレンジガーデン、クラブネットショップ、クラブ主催イベント)のみで販売を行う方針を取らせていただいております。今年はお蔭様で夏場早々に完売してしまったため、来季は同様の事象が起きぬよう調整して参ります。

■アルビレックス新潟 QUIC Pay の利用者数とご利用金額の一部の強化費比率と利用された事で得られた強化費金額を公表できる範囲で教えて頂けませんか？(30代男性)

■アルビデザインのクイックペイカードを発行しているが、カードの性質上、学生には持ちづらい。ポンタカードやTカードであれば、クラブスポンサーでもあるのでコラボができるし、誰にでも手に入れやすくなりそうだが。(30代男性)

⇒試合会場での利用件数は年間で約300件です。金額は公表できないのですが、JリーグパートナーのJCB社もクラブも、より一層のご利用戴きクラブ支援に繋がるように各種施策や企画を行って参りたいと考えています。

■選手関連グッズ(ユニフォーム、タオマフなど)の売り上げは山本選手がトップとの噂を聞きましたが本当ですか？(40代女性)

⇒選手別の売上については公表しておりませんが、時期やアイテムによって様々です。

■アルビファン雑誌発行中止は残念です(60代男性)

⇒雑誌媒体発刊維持は発行元パートナー企業様にも多大な負担が生じるため容易ではありませんが、再販可否については、次年度以降、再度調整、相談して参ります。ご意見ありがとうございました。

■ベンチ入りできなかった選手は試合当日はスタジアムでグッズ売店で客寄せしても良いかと思えます。(50代男性)

⇒試合出場メンバーに残念ながら入らなかった選手は、アルビレックス新潟後援会が毎試合実施している「地区総会」に参加しております。また、スポンサー様が展開するイベントブースにおいて出演したり、新人研修の一環としてグッズ売店で販売協力を行った実績もございます。メンバー入りをしなかった選手も試合当日はトレーニングを行っております。キックオフ時間によっては、イベント出演をすると練習後の食事、栄養補給に支障をきたす場合もございます。トレーニング優先となりますが、引き続き可能な限り出演を調整して参ります。

■東日本大震災の被災者支援事業の今後について教えて欲しい。シーズンパスを持っているのでスマイルシートのチケットを買わず、プレスレットなど購入しようとしたのですが、なかなか売っている場所が分からず買いそびれています。もしアルビを通じて支援ができるならば、参加したいので、この事業のことを知らせていただきたい。(30代女性)

⇒「がんばろう東北 SMILE PROJECT」は2012年に開始して今年で4年目、岩手県沿岸地域及び福島県より延べ19チーム、410名の少年少女様を新潟にご招待することができました。本企画趣旨にご賛同

戴いた企業様、サポーターの皆様のご支援ご協力に深く感謝しておりますし、プロジェクト継続可能なご支援が続く限りは、継続して取り組んで参りたいと考えております。

「チャリティープレス」は『復興支援 SMILE シート』ご購入者様への特典として「ピンバッジ」「缶バッジ」のいずれかから進呈しておりました。2016 シーズンは、グッズ売店やインターネットショップ等でも購入戴けるよう、検討させていただきます。尚、活動詳細はクラブ公式ホームページの特設サイトに活動レポートとしてご紹介しております。

<後援会について>

■「クラブハウス拡充の寄付をお願いします」と言うだけでは無く、内部の見学ツアーを有料で実施してはどうか。選手が帰った後で構わない。ただ「寄付ありがとうございました」だけより、「ここがこうなんで〇〇の設備が欲しい」とか、若干でも収入になるのでは？スタッフさんの仕事を増やすとは思いますが、どうでしょうか？(40代女性)

⇒後援会事務局としては、クラブハウス内の様子が伝わるように動画等を制作し、後援会 YOUTUBE にて配信しております。内部の見学ツアーについては、今後の参考にさせていただきます。

■カンファレンス時に来年の後援会費を払いたい(40代女性)

⇒後援会スタッフにて受取させていただきます。

■各地域の後援会会員同士の交流がもっとあってもいいと思う。(60代女性)

⇒試合当日の後援会地区イベントの内容も含めて、今後の活動の際の参考にさせていただきます。

■後援会事務局の廃止を提案します。もちろん、スタッフの働きぶりを鑑みれば「必要な人、大事な人」であることは理解していますがそもそも事務局として独立させる必要があるのか疑問です。そもそも事務局の独立は平成18年度位、後援会運営費の主たる収入「後援会費」に消費税がかからない任意団体として存在するための意義があったと同っています。現在、消費税がかかるのだから全く独立させる意味がないと考えます。むしろデメリットとして球団からの出向社員扱いなので球団に対し意見が述べにくいシステムになっていると噂があります。さらに収入の内事務局員の人件費を差し引いた額が最終の支援金です、BCリーグの新潟は会費収入は他のチームの数倍であるにもかかわらず支援金は6チーム中最下位(2012年実績)という有様です。これだって他の球団のように球団内に事務局を置くことで事務局スタッフは球団から給料をもらい、会費の効率的な支援金化で解決できるのです(BC新潟も数百万円の支援金ができリーグになれる)。しかも10年前と比べ「経費節約」を旗印に事務局定員を削減し、ついには専務理事不在で会が回るという異常な現状を見れば球団内に設置するのが妥当。加えて後援会事務局において「接待交際費」が0円、そんなサービス業に分類される団体があるでしょうか。球団内にあって存分に有効に接待交際費を使うべきだと思います。後援会事務局を球団内に置くことで組織改編と機動性の高い「会」としていただきたい。以前は後援会のほかにサポーターズクラブなるものがあり、違いがよく説明できていなかった部分がありましたが、球団内に二つの会を再度創設することで後援会は「ハード面の応援＝球団の存在」、サポーターズクラブは「ソフト面の応援＝選手スタッフや試合の応援」という住み分けやシナジー効果が期待されると考えます。

今年の後援会総会において後援会事務局に対しアウェー松本戦等のチケットあっせんを提案していた人がいましたが、本来ならこれは外部の団体たるチームを物心両面で支援する後援会の仕事ではない。しかし、意見そのものには誰も納得するものがある。特に普段観戦している人なら、これは普段観戦している人の意見や希望をぶつける相手がないから総会にて頓珍漢なことが起こるのです。解決は簡単なのである。試合を応援することが主体な人たちはサポーターズクラブに入るべきなのです。サポーターズクラブに1万円のコースを設定してシーズンパスを家族と一緒に1万円値引いてもらえば良いので

す。かつて経理出身の球団社長が「後援会から9,000万円の支援をもらってもシーズンパス割引で6000万円の持ち出しになる」と公言されていたがこれも解決できる。後援会のシーズンパス割引は廃止の時期に来ているのだから球団内で後援会とサポーターズクラブを住み分けさせるべきだと思います。後援会会員には生で試合が見たくても見ることのできない人が大勢います。たとえば遠く神奈川の居酒屋の大将もその一人です。その居酒屋には「アルビ募金箱」なるものがあり小銭で毎年数万円から時には10万円を超える募金が集まりますが、決してアルビレックスのサポーターばかりが募金しているわけではありません。むしろ他クラブのサポーターの方のほうが多いでしょう。焼き鳥屋の大将が40年間地域で商売をし、地域に溶け込むことで「大将が応援するアルビなら、一時的にでも応援しよう」とお釣りの小銭を入れていくのです。こういう後援会の会員を増やすためにも試合を見ることを主体とする人と球団の存在意義たる「J1 チームのある街、地域」をは育む組織づくりを強く希望します。(50代男性)

⇒後援会事務局の業務として、個人9,293名、法人928社の会員の皆様への会員カードや継続案内等の製作や発送作業、その他にも入金・会計処理や激励会の運営などがあります。仮に事務局が廃止になると、これらの業務を円滑に行えなくなり、後援会員の皆様にご迷惑を掛けてしまう可能性があります。また、クラブの発展のためには、後援会の継続率のアップや新規会員獲得等を通じて会員拡大を目指すことも大変重要です。以上のことも踏まえて、後援会事務局として専門で会員組織の運営と拡大を行うスタッフの在籍は必要であると感じております。

<その他、意見・提案等>

■今シーズンのリーグの成績がさんざんたるものなのに社長はセレモニーでの挨拶で、サポーターのブーイングに対して不適切な言葉を発したがその真意は？(50代男性)

■状況がどうあれ、社長がサポーターに「黙って」はありえない。「ご静粛にお願いします」など何かしら配慮のある言い方ができないのは、社長以前に社会人として失格。何かしらのアクションが無いならば、シーズンパスの更新はしません。(30代男性)

■地上波放送時の勝利給の上積み

今季のリーグ戦、ホームでたった3勝しか出来なっただけでなく、せつかくの一般の人たちへのアピールの場となり得る地上波での中継時、まるで勝てなかった。ホームでの試合は全部勝てとは言わないまでも、せめて地上波中継の時には選手自らが広告塔になって頑張ってもらえるように、クラブ側も選手たちのモチベーションを上げる努力をしてもらいたい。(40代女性)

■ユニフォームの背番号が紺色になって非常に見にくく、識別が難しかったです。それ以前は白色で見やすかったです。背番号は遠くからでも見やすいようにして欲しいです。このことはJリーグという興行として考えた場合、現地観戦者つまりお客様視点で考えて欲しいです。またこれは、自クラブだけではなく他のクラブというかJリーグに対しても発信して欲しいと思います。他クラブでも見にくいのが結構ありますから。(60代男性)

■1st ユニホームの背番号の色が、昨年までは白だったが、今年は青になった。白で縁取られていたが、自分の視力が悪いせいか、スタジアムで見ると見えづらかった。白に戻してほしい。(30代男性)

⇒ご意見として頂戴いたします。

■サポーター代表とクラブ像について計画策定のを設けてはどうか。(観客増対策、スタジアムづくりなど)(40代男性)

■クラブとサポーターが建設的なアイデアを出し合って、考え、話せる機会を定期的に設けていただきたいです。(40代男性)

・企画チケットの立案 ・スタジアムのイベント立案 ・新商品の考案

・集客を増やすために、どうすればいいか。

⇒現在もサポーター有志の方々とスタジアムでの演出や応援について意見交換を行っております。また、県内の各大学においてプロジェクトが立ち上げられ、スタジアムへの来場促進案をクラブに提案いただく等、様々な取り組みが行われております。クラブ主導でこのような場を設けるかは、今後検討させていただきます。

■今シーズンは成岡選手、守田選手、林選手などの怪我に関しては公式サイトでの発表が無かったと記憶しています。何か理由があるのでしょうか？(30代男性)

⇒選手が負った負傷の情報についてはチーム、またメディカルスタッフにも確認を取りながら進めています。筋肉系の違和感を覚えて全体トレーニングから離脱したものについては、軽微で全体合流が間近なものであれば発表をしないケースもありました。また、負傷部位の特定を要するもの、治療の手法により全治期間が変動するものもあり、発表を控えていた場合もあります。

■SNSにおいて、選手に飲食品を差し入れする様子をアップしている方がいる。アンチドーピングの観点からいかなものか。(30代男性)

⇒ご指摘いただきありがとうございます。サポーターの皆様からのプレゼントなどはありがたく感じておりますが、ドーピングなどの観点からも栄養ドリンクや手作りの飲食物などはお受け取りができないケースがございます。SNSへの投稿などについては選手・スタッフへの啓蒙も行って参りますが、サポーターの皆様にご協力をいただきながら取り組む問題でもあると認識しております。

■SNSやインターネットの掲示板等で選手の個人情報や練習の状況等を勝手に垂れ流しているユーザーが未だに見受けられるのですが、クラブ側から何か対処していच्छるのか聞かせていただきたいです。(20代男性)

⇒ご心配をおかけしていることをお詫び申し上げます。選手の個人情報や練習の状況をSNSや掲示板などで発信される事象があることは確認をし、クラブハウスでのチラシ配布や公式サイトでの注意喚起を行っております。また、選手に対しても、適宜コミュニケーションを取りながら対応についてアドバイスを行っています。今後も選手と連携を取り、サポーターの皆様のご協力をいただきながら取り組んで参りたいと思います。

■クラブの目標やポリシーなどカンファレンスで社長が説明する内容が、一般の人々に伝わっていないと感じる。社長以下すべてのスタッフが工夫しながら頑張っていることは、毎試合通っていれば分かるが、最近スタジアムから遠ざかってしまった人達にこそ知ってもらいたい。新潟日報で社長が連載を持つ、地元テレビにコーナーを持つ等、社長の露出を増やしてはどうか？(50代男性)

■資料の説明は時間が限られている中で大部分を占めているように感じられます。後日ホームページに掲載されるのなら、ある程度簡素化してもいいのではと思います。逆に質疑応答に時間をかけて欲しいです。カンファレンスは株主総会ではありません。サポーターがわざわざ時間をかけて来ているのです。どうか意義のあるカンファレンスになるようお願いします。(40代男性)

■カンファレンスの開催はとても喜ばしく存じます。しかし、ここ数年サポーターがやかましいから渋々挙行したかのような感じが非常に見受けられます。サポーターからの質問、意見をほとんど拝聴せず、貴社社長のある意味”演説”に時間を割き時間が過ぎたので解散！な議事進行では”今後のクラブ運営に反映”させると気がまったくなく言うなればタダのポーズにしか見えませんもし、本当に意見を聞き参考にするという覚悟が本気ならば前述の議事進行を改めご自身の身の危険を覚悟の上で我々サポーターの意見を全て言い訳でなく明確な返答を持って対応して戴くことをお願いします。(40代男性)

■毎年のサポカンで出た意見はどれだけ考慮され、どれだけ実践されているのか。その場の回答だけではなく、実際どうしたかを聞きたい。(30代男性)

⇒皆様から多くの質問をいただき、可能な限り回答をしたいと思っております。そのために申込時に質問や意見を受け付けております。カンファレンスの進行については、時間の兼ね合いもあり、事前に皆様からいただいた質問や意見を参考に、より多くお問い合わせをいただいた内容をテーマに話をさせていただいております。可能な限り回答したいと考えておりますので、回答できる部分はこのように資料に記載しております。

我々は皆様からのご意見を踏まえ、総合的に取り組んでおります。実際にどれだけ実践されたかについては、皆様によって判断・評価いただければと思います。

■長岡市宮陸上競技場をセカンドホームとして長岡市と協議してほしい。(40代男性)

■レディースの観客数を増やす対策として思い切ってホーム地域を長岡に移したらどうか。(40代男性)

⇒ご意見として頂戴いたします。

■自宅周辺の子どもたちを見ていると「本物体験」というものをしたことが無い子が多いです。サッカーチームもありますが、『曖昧な夢』で終わっています。もし、本物の選手に触れることができれば、『現実味のある夢』となり、自分の夢に近づこうとする努力も芽生えてくると思っています。もし、ボクの勤めている学校に来てくれたら、子どもたちは目の色が変わるでしょう。サッカーに限らず、それぞれの子どもが『自分の夢の実現』に向かって歩み始めると思います。ニュースで見ていると、市内の学校には頻繁に訪問しています。その訪問の一つをボクの勤めている学校にしてもらえませんか？『ホームタウン＝新潟市』ではなく『ホームタウン＝新潟県』は、無理ですか？(40代男性)

⇒現状、シーズン中の学校訪問はトレーニング後に実施しておりますので、移動時間や授業時間等を考慮して、新潟市内を中心とさせていただいております。一昨年、今年のシーズンオフには、燕市や長岡市などシーズン中にお伺いできていない地域にお伺いし、新潟市外にも少しずつ活動範囲を広げておりますので、シーズンオフの学校訪問先として検討いたします。

■モバイルアルビでチームのスケジュールやメディアスケジュールが載っていますがもっと早くに知らせてもらうことができますか？録画ができなくてとても残念な時が多くて。私も毎日見ているわけではありませんので強くは言えません。(60代女性)

⇒ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。チームスケジュール、メディアスケジュールについては確定次第お知らせできるようにと考えていますが、より迅速な発信に努めて参ります。

■今シーズンは、残念ながら我々サポーターも反省しなければならない事件がありました。アウェイ浦和戦での行為です。これは人として恥ずべき行為で当事者には反省してもらわなければなりません。私も近くで見えておりましたが、周囲には子どもたちやお年寄りも沢山おり、とても怖かったのではないかと思います。また最近、他クラブでは高校生の人種差別発言が問題となりました。クラブはこのような行為が起きないよう、どのような対策を講じていく考えでしょうか。(40代男性)

⇒試合日のスタジアム内だけではなく、差別や暴力のない社会を創っていくことが大切であると感じております。クラブとしては引き続きコミュニケーションを第一に様々な啓蒙活動に取り組んで参ります。何よりクラブだけではなく、JリーグやJFAとの連携、サポーターの皆様との連携がより重要であると認識しております。

■他チームではシーズン終了後も練習はしているようなのですがなぜアルビは最終戦のあとはオフにするのですか？(自主練習かもしれませんが)(50代男性)

⇒今年はチーム方針によりオフとなりましたが、以前は練習をしていた時期もございます。

■今年は多くのカードをもらいましたが、柳下さんは納得がいかなかったようでした。新潟目線は自覚しておりますが、見ている側からも不可思議な判定が多々あり、クラブとして意見書を出すとかの行動は取られたのでしょうか。あそこまでの発言を一監督がすべきではなかったのか、クラブとしては一緒に戦ったの

か、どういうスタンスだったのでしょうか。(50代男性)

⇒毎試合、チーム・クラブが一丸となり戦っております。意見書等の提出有無については、クラブから公表することはできませんので、差し控えさせていただきます。

■聖籠での一部サポーターのルール無視の行動から、ルールの厳格化が図られたことは評価しております。しかし、何故あのような行動をとるようになったかご存じでしょうか？通常練習の後は全員に声をかけるチャンスはありますが、試合翌日はクールダウン後と称して誰がでてくるのか？また何時になるのかわかりません。せっかくお目当ての選手を待っていたのに、さんざん待たされた挙句もう帰りましたと伝えられることも多々あります。関東サポーターなどは普段聖籠に来られないので、せめてホーム試合後は選手に会いたいと楽しみに来ています。選手全員にファンサービスをしてもらいたいとは言いませんが、せめて当日のファンサービスに誰が来てくれるのかくらいは告知してもらいたいものです。広報さんあたりが練習前にちょっと選手に聞いてもらえれば簡単なことだと思いますので是非ご検討をお願いいたします。(50代男性)

⇒試合翌日のトレーニングについて改めてご説明申し上げます。試合に出場したメンバーはリカバリートレーニングを行います。ピッチでのランニングなどを30分～40分程度行い、その後クラブハウスでアイスバス(氷風呂)に浸かり、試合でのプレーにより帯びた筋肉の熱を冷ますようにしています。また、選手によってはクラブハウス屋内でのウェイトトレーニングが課されている者、また治療を必要としている者もいます。屋内でのアイスバスやウェイトまでをトレーニングの一環として捉えており、ピッチから戻る際にサインなどのお求めにお応えできないことがあります。クラブハウスに足をはこんでいただいたサポーターの皆様へのファンサービスは、クラブとしても積極的に行えればと考えています。選手への声かけなども行っておりますが、ピッチで別に行われているトレーニングやトレーニングゲームの帯同、またレディースなど、その他カテゴリーの公式戦開催がある場合は、対応する広報スタッフの人員もさらに限られることになり、行き届かない部分があることは申し訳なく思っております。

今後も引き続き、チームを支えていただいているサポーターの皆様へのコミュニケーションを充実できるよう、選手側の協力も仰ぐとともに、スタッフの業務レベルの向上に努めて参ります。